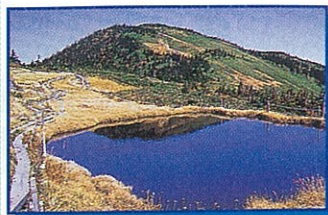


南会津のうりんニュース

第35号

平成13年4月10日発行
福島県南会津農林事務所



今月のトピック

「川衣集落」豊かなむらづくり顕彰事業で表彰

3月22日、「豊かなむらづくり顕彰事業」の表彰式が福島市の杉妻会館で行われました。当管内からは館岩村の川衣集落がむらづくり部門において優秀集団として表彰され、県知事賞と福島民友社長賞が贈られました。

表彰式では、川手晃副知事と黒崎精三福島民友社長から挨拶が述べられた後、「山間地の条件不利地域でありながら、地域資源を生かしたむらづくりに大きな成果を上げた」と審査報告がありました。

最後に、芳賀勉川衣集落代表が「地域住民が一丸となって、地域資源を生かし、徹底した話し合いによるむらづくりを進めた」と受賞者集団を代表して謝辞を述べられました。

表彰式終了後には県庁を訪れ、農林水産部長をはじめ関係各課を訪問し、受賞の挨拶と「豊かなむらづくり全国表彰」県代表としての抱負を報告しました。
(地域農林企画室)



代表謝辞を述べる芳賀区長



高校生からも意見発表が行われました

就業促進学習会開催される

3月19日、田島町「田島建設会館」において、南会津農林業担い手育成連絡協議会主催による「就業促進学習会」が開催されました。

これは農林業への新規就業者を確保・促進するために、地域、事業体、行政機関等の受け入れ側がどのような対応が必要かを学ぶ目的で実施されたもので、JAや農林業関係者・管内高校・町村・県等で44名の参加がありました。

農業・林業への新規就業状況、高校の新規卒業者の就業状況が報告された後、「南会津の可能性と職の創造」と題して、田島町の芳賀沼製作取締役芳賀沼伸氏の基調講演が行われました。

その後、只見町で新規に林業へ就業された梁取一樹氏の体験発表があり、参加者全員による活発な意見交換がなされました。
(森林林業部)

大地と太陽の恵みを受けて育った南会津のグリーンアスパラガス、 いよいよ登場です

～アスパラガス収穫始まる(田島町田部地区)～
長い冬が終わり、春の訪れを感じさせる陽気の3月28日、南会津地方の代表的な野菜であるグリーンアスパラガスが初出荷されました。

近年、病虫害の多発、単価低迷等で大変厳しい年が続きました。今年こそは、天候に恵まれ、また肥培管理の徹底により、豊作を期待しています。

(農業普及部)



南会津のグリーンアスパラガス、注目です!▶

「うつくしま農業・農村振興プラン21南会津地方計画」パンフレットを作成しました

平成2年に策定した「第三次福島県農業振興基本方針」（平成8年改訂、目標年次 平成12年度）に替わり、21世紀初頭における農業・農村の目指すべき姿とこれを実現するための方策を明らかにした「うつくしま農業・農村振興プラン21」（平成13年度～平成22年度）を策定しました。

この「うつくしま農業・農村振興プラン21」には、県内7つの生活圏の特色を生かした地方計画を含んでおり、当事務所では「うつくしま農業・農村振興プラン21南会津地方計画」の実現のためPRパンフレットを作成しました。

早速、4月4日に行われた伊南村農事組合長会議に出向いてパンフレットの中身を説明しました。今後も、このパンフレットを使った説明会を各地で開催し、「うつくしま農業・農村振興プラン21南会津地方計画」の浸透を図って行きたいと思えます。（地域農林企画室）



▲各種会議に出席して説明していきます

南会津地方の計画を記したパンフレット▶

うつくしま農業・農村振興プラン21 南会津地方計画



豊かな自然を生かした国産産物と
やすらぎの里づくり



福島県南会津農林事務所

新人の 想い

この一年を振り返って

農業普及部 政井 紀恵

(平成12年度新規採用 会津高田町出身)



すっかり春らしくなり、冬が懐かしく感じられる頃になりました。新規採用から一年が経ち、その頃も懐かしく思い出されます。

昨年3月にアパートを探した日はふぶいており、4月というのに西部では路肩には雪の壁。それまで抱いていた「南会津＝山・雪」というイメージは決定的でした。別世界に驚きつつ、先の生活に不安を感じた覚えがあります。しかし、新緑の山、澄みきった川、ゴツゴツ岩、美しい景色をそのまま見られる空気に感動し、近所のおばちゃんや子供達に挨拶され、親しみを覚えながらの生活を始めることができました。

このすばらしい南会津の自然の中で農業に従事する生産者と接する普及員となり、一年が経ちます。この間様々なことを体験してきました。農家体験研修では、農家の方の農業への思い、意欲、夢などを感じることができました。また、収穫時の喜びは格別にもかかわらず、収穫直前に雹害に遭ったことは非常に悔しく、自然災害の厳しさも実感しました。



今年も頑張ります

この一年は果樹担当としての仕事を覚えるのに必死で、何かなんだかわからないうちに過ぎたような気がします。先輩方の仕事を見て普及という仕事が様々な分野にわたることは理解しました。親切にいろいろ教えてくださる生産者の方のためにも、しっかりと技術を身につけ、少しでも早く多くのことを、地域へお返しできるよう努力したいと思います。ようやく運転にも慣れ、2年目は交通事故に注意し、健康で楽しい普及を目指して頑張ります。これからもどうぞ宜しくお願いします。

人事異動のお知らせ

南会津農林事務所では、4月の人事異動により20名が転出（退職者1名）、21名が新たに配属となりました。

転入者

所属	氏名	旧所属	ひとことPR
次長	斎藤 敏道	消防防災課	しっかりと足をつけて仕事に取り組みます。よろしくお願いします。
企画部	鈴木 清昭	教育庁総務課	初めての南会津。全てが輝いて見えます。よろしくお願いします。
	佐々木幸弘	会津若松建設事務所	初めての南会津、仕事は勿論、仕事以外でも楽しく頑張ります。
	円谷 正人	県中農林事務所	ツムラヤと申します。南会津の林道巡りをしたいと思います。
	渡邊 和之	国際課	初めての一人暮らしin田島。明るく頑張りたいと思います。
	坪井 崇	新規採用	早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう頑張ります。
農業振興部	長谷川守人	農村振興課	3年ぶりの出戻り奉公です。またよろしくお願いします。
	市下 貴之	新規採用	未熟者ですが、どうぞよろしくお願いします。
農業普及部	飯島 義也	喜多方地域農改センター	南会津は故郷、チームワークで活力アップ。どうぞよろしく。
	鈴木 忠広	農業短期大学校	一日一善。日々努力精進。海外在住40カ国。日本語不得手です。
(南郷駐在)	江川 孝二	農業試験場会津支場	生産者の方々と共に、品質日本一の花き産地づくりに頑張ります。
農村整備部	瓶子 敏行	会津東部ほ場整備事務所	南会津地域の素晴らしい環境に、大いに満喫していきます。よろしく
	寺野 圭悟	農業試験場	少しでも何かしらよくなったと言われるような南会津を目指して。
	佐川 積成	会津農林事務所	初めての南会津。農業と自然との共生を考えたいと思います。
	平石 広伸	相双農林事務所	山と川にあこがれてやってきました。よろしくお願いします。
	小貫 恵	農地計画課	初めての南会津です。よろしくお願いします。
森林林業部	渡辺 陽三	県南農林事務所	14年ぶりの勤務です。単身赴任生活も卒業しました。
	笠原 航	林業研究センター	はじめての南会津です。きのこの本場でがんばります。
	東村真太郎	林業振興課	雄大な自然に抱かれて、気分はおおらかに。仕事もおおらかに。
	益子 努	県中農林事務所	よろしくお願いします。
	坂本 敦史	県北農林事務所	豊かな自然の中で一生懸命仕事を頑張ります。

転出者

旧所属	氏名	転出先
次長	佐藤 孟	県北地方振興局
企画部	武藤 進	会津保健所
	五十嵐幸良	会津農林事務所
	岡崎 浩	農林総務課
	粟野 敬	会津大学
農業振興部	大野 英樹	会津第二高校
	堀越 紀夫	農業試験場
農村整備部	坂本 宏	県中農林事務所
	仙波 均	会津農林事務所
	岩崎 茂	会津農林事務所

旧所属	氏名	転出先
農村整備部	青柳 成男	相馬北部用水改良事務所
	村松 隆	相双農林事務所
森林林業部	吉田 直喜	県南農林事務所
	渡辺 浩	会津農林事務所
	二野屏健治	いわき農林事務所
	田崎 実	相双農林事務所
	高橋 敦宏	森林土木課
南会津地域農改センター	菊地 裕雄	会津農林事務所
	佐藤 宏光	県中農林事務所
	円谷 聡	相双農林事務所

そばの振興を考える

そば打ちを始めました。出来映えは、太さ、長さはバラバラでしたが、歯ごたえは良く、初心者としては良く出来たと自己満足しておりましたが、「そば粉が良かったから」との講評。そば打ちの技術、そば粉の良し悪し等々、そば打ちは奥が深いものだと分かりかけてきました。

さて、南会津地方のそばの面積は平成11年度現在383haあり、会津地方に次ぐ県内2番目です。そして高冷地の気象条件を活かした特産物であり、中山間地域の土地利用型作物であるので、今後重点的に生産振興する作物として位置づけ、10年後には650haまで面積を拡大する計画です。

12年産の玄そばは栽培面積の増加等により、生産過剰ぎみで安値販売となりました。生産者からは「安くて困った。粉、麺で売らないと儲からない」との声が上がっています。

「玄そばは1kgを生産して得られる所得は255円であるが、この1kgの玄そばを製粉して、そば粉として販売した時に得られる所得は472円となり、所得額は1.9倍になる。さらに麺にして販売すると所得は748円となり、玄そばの約3倍の所得額が得られる」との試算があるように、そばは原料としての玄そばを生産するだけでは大きな利益を望めません。しかし製粉、製麺して付加価値を高めることで所得が増し、経営的にも採算がとれる作物なのです。当地方でも、生産施設の整備はもとより、製粉・製麺の加工施設、直売所・農家レストラン等の販売施設の整備が徐々に整いつつあります。

そばの生産・加工・販売までの一貫体制の確立が、そば振興の決め手となるでしょう。

また、当地方では檜枝岐村、館岩村、只見町の「新そば祭」を始め、「そばを味わう」イベントが各町村で大々的に取り組まれており、各地の食堂、民宿、旅館等では名物として「手打ちそば」が出されています。さらに、そば打ち教室があり、そば打ち名人と言われる方々も多数います。

地場産のそばを地場消費すること、所謂「地産地消」のサイクルを確立することも、そば振興の決め手となるでしょう。

ぜひ、美味しいそばを食べたい方、そば打ち体験をされたい方、そばに興味のある方は南会津にお越し下さい。

所長 中村 紘夫



～研修会・講習会等お知らせ～

内 容	月 日	場 所
①農産加工研修：米粉利用の現状と 玄米クッキーの加工	5月30日(水)	農業短期大学校

※お申込み・お問合せ先：南会津農林事務所 地域農林企画室 TEL 0241-62-5866
農業普及部 TEL 0241-62-5262

退職者の紹介

細井 弘子さん

南会津地方はもとより、本県の発展にご尽力されてきた企画部の細井弘子主査が3月31日をもって退職されました。

細井さんは、38年にわたって出納事務一筋に従事され、その多大な功績が認められ、昨年11月には出納職員自治大臣表彰を受けました。

長い間本当にお疲れさまでした。



タイトル横の写真
会津駒ヶ岳（檜枝岐村）
5月20日山開き

問い合わせ

あて先 〒967-0004
福島県南会津郡田島町大字田島字根小屋甲4277-1
南会津農林事務所 地域農林企画室
TEL 0241-62-5866 FAX 0241-62-5256
E-mail m-nourin@akina.ne.jp
ホームページ <http://www.aff.pref.fukushima.jp/minamiaizu/>
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

この広報誌は再生紙を使用しています